

SDGs から考えるこれからの森林（もり）づくり

国際基準に合致した森林認証制度に基づく認証材は、東京オリンピック・パラリンピックの競技施設等において採用されるなど、国際的に標準となりつつあります。

また、企業活動の中で、森林の保全につながる木材利用や「森林認証紙」の採用など SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みが急速に広がり始めています。

さらに、森林環境譲与税が平成31年度から全国の自治体に譲与が始まり、森林の公益的機能を持続的に発揮するための森林整備や木材利用及び森林を通じた上下流の連携が進んでいます。

そこで、信州木材認証製品センターでは、長野県・県内森林認証グループ等と連携して、このような取り組みを加速化するため講習会を開催することといたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症のまん延、拡大等により、実施が困難となる可能性があることをご承知おきください。

□ 日 時 令和2年（2020年）12月3日（木） 13：15～16：30

□ 会 場 佐久市 市民創錬センター（佐久市猿久保165番地1）（県立武道館隣接）

□ 主 催 信州木材認証製品センター 共 催 長野県

□ 後 援 林野庁、佐久森林認証協議会、上小森林認証協議会、南信州森林認証協議会、根羽村 SFM 森林認証協議会、長野県森林組合連合会

□ 参加費 無料

□ 対象者 自治体職員、森林・林業関係者、建築関係者等

□ 会場定員 100名（定員250名の50%以下） WEB参加定員 100名（WEBEX）

〈基調講演〉13：15～14：30

需要拡大から消費機会拡大へ

～地域材・認証材をスタンダードに～

講師： 赤堀楠雄氏（林材ライター）



赤堀楠雄（あかほり・くすお）氏

林材ライター ◇1963年生まれ、東京都出身。早稲田大学第一文学部卒業。1988年～1999年 林材新聞社勤務。主に林業、国産材産業、林野行政に関する取材を担当。1999年4月に同社を退社し、以後はフリー記者として森林、林業、木材産業、住宅産業などに関する取材・記事執筆に従事している。長野県上田市在住。

〈事例報告とパネルディスカッション〉14：40～16：30

① NEBAR FOREST ～いまだかつてない森～

報告者： 大久保憲一氏（根羽村村長）

② 信州ウッドパワープロジェクト～木づかいによるSDGsへの貢献～

報告者： 陰山恭男氏（信州ウッドパワー(株)代表取締役）

③ 木を育て、使うことで、森林の循環をつくる～都市部での木材利用～

報告者： 中嶋一郎氏（住友林業株式会社 筑波研究所長）

④ 森林環境譲与税を活用した上下流交流の取組

報告者： 安高志穂氏（林野庁森林利用課森林集積推進室長）

報告者によるパネルディスカッション

テーマ「森を活かし、木を使いSDGsへ貢献」

ファシリテーター：赤堀楠雄氏

■申込方法

・別紙「SDGsから考えるこれからの森林（もり）づくり受講申込書」をFAX又はメールにより事務局まで返信してください。（締切：11月24日(火)）

■問合せ先・申込み場所

事務局：信州木材認証製品センター 〒380-8567 長野市岡田町30-16

TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580 E-mail: spla-net@coral.ocn.ne.jp

■その他 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上（受付で検温等）で実施することとしますが、当日はマスク着用の上、来場いただくとともに、体調不良の場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします。

信州木材認証製品センター あて

「SDGs から考えるこれからの森林(もり)づくり」 受講申込書

締切：令和2年11月24日

参加方法	会場参加 ・ WEB参加 (どちらかに○)
貴社名	
所属部署	
ご住所	
ご参加者名	① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____
電話番号	
メールアドレス	

- ※1 メールで申し込む場合は、上記内容を記載して spla-net@coral.ocn.ne.jp までメールしてください。
- ※2 WEB参加の方には、事前に接続方法と接続パスワードをメールでお知らせします。
- ※3 当日は、定期的に換気を行いますので暖かい支度でお越し下さい。



市民創練センター北側に令和2年3月オープンした長野県立武道館に森林認証材が多く使用されています。お越しの際は使用中でなければ内覧可能ですので是非ご覧ください。



県立武道館主道場